

一石の上にも三年一

石の上にも三年
雨垂れ石を穿つ
粒々辛苦・・・

やはり、すぐに辞めるのではなく、その仕事の真相を知り、こつこつと努力することが大切なのではないかと、という親友の励ましがあり、辞めることを思いとどまりました。
まだ何も知らず、目先の辛さにとらわれて投げ出すのは確かに情けないこと。

どんなことでもその真相を知るには時間がかかります。
その真相を知る前に投げ出すのことは、人として浅はかではないでしょうか。
ある程度極めてから、そこで本当に合わないのであれば辞めれば良いではないのでしょうか。
辞めるのは簡単なことです。楽な方に流されがちですがそこをぐっところえるのが理性。
人間にはその理性があるんです。
捨て鉢な行動にならず、理性で制御できることが人間だけが持つ特権です。

そんなわけで、私は正式に開発部に配属になりました。
私の担当は **EPS** (電動パワーステアリングシステム) の開発。
皆さんなかなか馴染みがないかもしれませんが、最近の車はほとんどこれなんですよ。
エンジンのパワーを使ってアシストする従来の油圧式パワーステアリングに比べて、燃費が格段に向上するんです。
さらに、電気で制御しているのでいろいろなことができるんです。
その最たるものが、ドライバーの運転支援システムです。
LKAS (レーンキープアシストシステム) といいます。
高速道路などで設定するとセンターラインを検知して白線に沿ってハンドルを切ってくれるのです。
完全な自動運転ではないですが、未来の自動運転に向けての第一歩という感じでしょうか。
さらにこのシステムと合体したシステムはすごいですよ～(笑)
まず、高速道路で一定の速度にセットします。
走行中前に車がいると勝手に減速、いなくなるとまた設定速度まで勝手に加速。
緊急事態にはシートベルトを引っ張って警告し、さらに衝突が回避できないとブレーキをかけてくれます。
今の車って、ものすごく賢いんですよ。
こんな開発をしていたらどんどんはまっていきました。
おもしろい！あのとき辞めなくてホントによかったと思いました。
自分が開発に携わった車が世の中に出ていく喜び。
何とも言えません。この仕事に誇りを持ちました。

**嫌だと思ったこともやってみるとおもしろかったり、やりがいがあったりします。
すぐに投げ出さず、ちょっところえてみてください。
その先に何かが見えてくる時が必ず来ますよ。**

それから3年が経ちました。毎日遅くまでパソコンや測定機器とにらめっこの日々が続きました。新しい車が完成するとすぐに次のモデルの開発が始まります。家電ではどんどん新しい技術が盛り込まれて行きますが、自動車は信頼性が一番大切。なので最新の技術ではなく、確立された信頼性のある技術を使います。やっと新車が完成したのに、また振り出しに戻る。ほぼ同じ事の繰り返し。何か物足りなさを感じ始めました。そして頭をよぎったこと、それはいつぞやの自分が言いだした言葉。

「やりたいこととできること」

どういう意味だろうか。

自分にしかできないこと。それは果たしてなんだろうか。
その答えは意外にもあっさり出ました。